

地域の魅力、再発見！

み まき さと
御牧の郷だより

第4号

御牧ふれあいの郷づくり協議会報 平成28年3月



一年生のみなさんが歌ってくれました

北御牧小学校音楽会

昨年の北御牧小学校音楽会で、一年生のみなさんが、とてもすてきな歌「さんぽ」を歌って下さいました。「となりのトトロ」の替え歌で、今の地域づくりにピッタリの歌詞です。こんなすてきな歌を歌ってくれる子どもたちに、すばらしい未来を残さなければと、改めて感じました。



「さんぽ」

北御牧小学校一年生



1 歩こう 歩こう 北御牧歩こう
鹿曲川 八重原 御牧原 歩こう
お米も おみそも じゃがいもも
小鳥に虫たち 星もきれい
いっぱい遊んで うれしいな

2 歩こう 歩こう 北御牧歩こう
父さん 母さん みんなで歩こう
ぼくたち これから 大人になって
もっともっとステキにするよ 北御牧
それまで 一緒に 歩こうね



移住者から見た北御牧、将来の北御牧を考える



あわただしさが増してくる12月初旬の夜、急遽開催された座談会。今回は広報部による企画で、移住者の皆さんと話す機会を設け、北御牧の印象や良いところ、気になるところ、残していきたいものなどをお話していただきました。都合で2組の方が出席できませんでしたが、楽しく懇談、お話をお聞きいたしました。

●最初に、ずばり（北御牧に移住してよかった）ことをお聞きします。

押本さん 新宿で40年サラリーマンをやって、退職し、北御牧に移住して10年。地元の人は親切で、よい人間関係を作りやすいです。

区の役員や保育園の保育キーパーをやらせていただき、子どもたちと楽しく過ごせました。そこからいろいろな出会いがあり、様々な人とのつながりができて、今、ボランティアやいろいろな役をやっており、とても忙しいです。

村上さん 5年前に、東京から八重原の祖父の家に越してきました。子どものころ、夏休みに北御牧に遊びに来ると、畑や田んぼ、山があり、祖父の家で過ごす時間がとても楽しかった。私が育ったのは14階建てのマンモス団地が立ち並ぶ町でした。高校生のときに友達を連れて来たら、田んぼを見て「なんの草が生えているの？」って。冬は寒いけど、空気がおいしいし、食べ物もおいしいし、近所の方からいただく野菜が新鮮です。先日都心に出かけて「野菜が自慢」のレストランで食事をしたとき、正直、北御牧の野菜のほうがずっとおいしいと感じました。

小池さんご夫妻 二人とも東京で教員をしていました。引っ越してまだ5か月です。土地を探していたとき、移住の情報誌でここを探しました。近所の稲刈りをお手伝いしたら、とても喜ばれました。この景色が良くて、移住を決めました。宿泊施設を始めたところです。



移住情報誌をきっかけに

●北御牧に来て困ったことは、どんなことでしょうか。

押本さん 雪は平均少ないが、大雪の時は大変でした。地震もあまり揺れないし、台風被害も少ないので、災害について住民の意識に温度差がある。危機管理意識があまりないかなあと感じます。

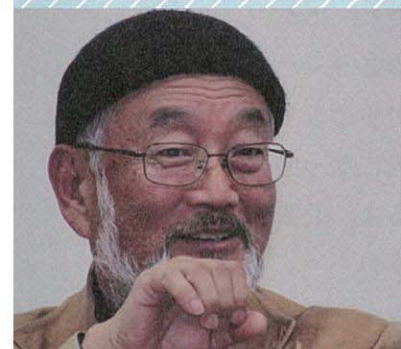
これからは高齢者がさらに増えて、交通の便が悪いので、買い物に困る人が増えるでしょう。デマンド交通も、もう少し工夫して使い勝手を良くして欲しいです。

これからの社会を考えると、老後の安心感がほしい。田舎でも、安心な老後を過ごせるようにしていかないと。

ボランティアの意識は都会のほうが高いと感じます。ここでももう少し、ボランティア意識で助け合う事が必要だと思います。一人住まいの方など、ゴミの収集場所が遠くて苦勞している人もいます。地元の人に面倒かけることは、なかなか頼めない、という人もいるのではないのでしょうか。

村上さん これから子どもが小学校に入学しますが、行事や役など、わからないことばかりなので、まわりの方から教わっています。資源回収をトラックで回るなど、保護者の負担が増えるのでは？と心配なこともあります。子どもが少ないので小学校は1クラス。中学校はどうなるんでしょう。また、家で炊いたごはんを保育園に持っていく、というのはこちらへ移住して、はじめて聞きました。東京では、給食がある園はおかずもごはんも給食室で調理していました。

部員 コメ農家が多く、地産地消のこともあって、昔からずっと続いています。



座談会参加者



御牧の郷協議会 広報部員 5名……
井出 依田 吉沢 笹平 小山 真田



小池さんご夫妻
東京から御牧原に移住



村上さん
東京から八重原に移住

部員 移住するときに問題になるのは、働く場所を見つけることだと思いますが、大変でしたか。

村上さん 働く場所は多くないですね。いまはインターネットを使って仕事をしています。

部員 移住者が多いのは御牧原や八重原ですが、久保通地域は空き家が目立っています。空き家バンクも市で取り組んでいるので、移住を検討している人は、お試しに利用してほしいと思います。

● 今後の北御牧の地域づくりに、 ひとことお願いします。

押本さん NPOで、買物や病院への送迎支援ができればいいと考えています。地域は自分たちが守り、作っていくという意識の住民の温度差を埋めるため、軌道にのるまでは、行政の力もお借りしたいです。

小池さん 里山や、広がる農地、ここの風景、温かい人間関係が気に入って越してきました。その良いところを残していかないと、都会から見た魅力がなくなってしまう。農業体験が楽しめるようなイベントができればと考えています。

部員 遊休荒廃農地が増えており、田んぼを維持できるか、農業がいつまで続けられるか、という問題もあります。

部員 今は突然、里山を伐採してソーラーパネルが設置されることがあります。残したい風景ですが、維持していくにはいろいろな事情や問題もあります。

小池さん 外から入ってくる人が増えることで、外から来た感覚の意見で、地域に何か変化をもたらせればいいと思います。御牧原の魅力を発信していきたい。宿泊してもらい、若者や人との楽しい交流に、価値を見出していければ。子育てが終わり、時間に余裕のある元気な人たちの力を借りられるような、人材登録制度があればよいと思います。

村上さん 移住者、地元の方の垣根なく、地域でのつながりができているので、地域のピーアールなど活動をしていきたいと思っています。楽しんで暮らしている姿を、子どもたちに見せていきたいです。

座談会を終えて

話を伺う広報部員の話が長くなってしまふ、ということもあり、十分にお話をさせていただいたというわけにはいきませんでした。北御牧を第二の「ふるさと」として移住していただいた思いが伝わってきました。

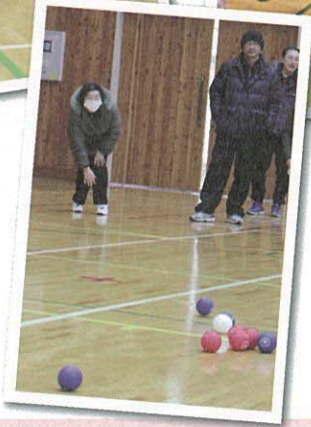
みなさんは、地元の者とは違う視点を持っており、座談会を行って北御牧の良いところ、魅力を再発見する機会にもなりました。お忙しいところを集まっていただき、貴重なお話ありがとうございました。



協議会の活動について

スポーツ文化部会

11月14日から15日まで、生涯学習作品展を開催しました。345名の方が見学に訪れました。
冬季スポーツ大会ポッチャ講習会を開催。
2月28日に冬季スポーツ大会を開催しました。



2月28日
冬季スポーツ大会



生活環境部会

むら歩きのマップができました。次回の広報紙で紹介します。健康づくりポールウォーキングの普及に役立てます。



青少年育成部会

八重原用水ガイドマップを使って、小学校4年生を対象に、11月19日見学会を行いました。
今後は黒澤家系譜書籍の発刊を予定しています。

地域づくり部会



ワークショップ開催小委員会事務局 真田 賢一郎

昨年8月の福島明美氏講演会を経て、3回のワークショップを皆さまと和気あいあいの中で体験できました。ワークショップ実行のための小委員会開催は、18回を数えています（ビジョン策定が第一段階の最終目的です）。子どもから青年、高齢者、そして生活の地である北御牧を思いやるたくさんの人たちがいらっしやることを知り、たいへん心強く感じています。



産業経済部会

御牧の湯直売所の担当者と話し合いを行いました。

『むら歩き』マップづくり

生活環境部会長 翠川 昌博

生活環境部会では、地域で安全、安心に暮らし続けたいという願いから、地域を知り、良い所や危険箇所など確認するため、「むら歩き」を行いました。これを基に、防災、自然、文化、安全などをまとめた「むら歩き」マップを創るワークショップを重ねてきました。このマップづくりをモデルとして地域に広げ、健康づくりや地域づくりに役立つ「情報マップ」の整備に向けた活動をこれからも展開していきたいと思えます。これからも、地域の皆様のご理解、ご協力を宜しく願います。



むら歩きワークショップの様子（布下区）

編集後記

広報部長 井出 容子

雪はあんまり降るといやだけど、子どもはとっても喜ぶし、雪景色は絵になってきれいじゃない。山水画のような景色、人と人との助け合い。あったかいおこた、次の実りのための雪。何でも未来に繋がっている。そんなことを考えると、雪にもありがとうって言いたい。